



報道関係者 各位

NPO法人 放送批評懇談会

発表！2026 年 6 月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで 64 年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2027 年 6 月上旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963 年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CM を顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

<お問い合わせ先> NPO法人 放送批評懇談会

MAIL : kondankai@houkon.jp HP : <https://www.houkon.jp/>





2026 年 6 月度ギャラクシー賞月間賞

上田と女が DEEP に吠える夜 2 時間 SP「産後うつ&女性政治家のリアル&ルッキズム」

6 月 1 日放送／日本テレビ放送網

生理のつらさやシングルマザーなど女性のリアルな悩みを取り上げる深夜番組が 2 時間スペシャルとしてゴールデンタイムに登場。「女性政治家のリアル」では与野党の女性国会議員が共演し、党派を超えたシスターフッドも垣間見えた。深夜枠よりは DEEP さが抑えられていた感はあるものの、バラエティでこうしたテーマを取り上げた功績は大きい。

テレメンタリー2026「虐殺のレリーフスパイと見なされてー」

6 月 20 日放送／テレビ朝日

沖縄県久米島で長くタブーとされてきた沖縄戦当時の住民虐殺を、当時を知る人や遺族の声を丹念に拾いながら明らかにしていく。スパイ防止法の議論が進む中、改めてこの出来事を深く取材し、取りまとめて世に問うことが非常に意義深い。取材が難しい内容を、根気強く取り上げた制作者に敬意を表したい。

E T V 特集「患者さんの痛み 写真家の葛藤～水俣病 公式確認から 70 年～」

6 月 27 日放送／日本放送協会

水俣病の抱える問題はもちろん大変重いのだが、この番組はそれに加え、こういった社会的重大事件を報道するメディアのありようを深く内省した、真摯な考察であった。地元漁民である男性からの「水俣病の写真はモノクロばかり、色を抜くという“着色”をしているように見える」という言葉は、報道の誘導性の無自覚さを明確に射抜いている。

「銀河の一票」

4 月 20 日～6 月 29 日放送／関西テレビ放送 MYRIAGON STUDIO

選挙を描きながらも、政局ゲームや“巨悪”との戦いとして描かず、あくまでも小さな声を拾っていく過程として描いたのが秀逸。“ドラマの駒”のような悪役がいないことも、誰も取りこぼさないという本作の一貫したテーマと合致し、そのキャスティングも抜群だった。まさしく「きれいなこと」を体現したドラマだった。

★詳細は月刊誌「GALAC」2026 年 9 月号（8/6 発売）に掲載します